

平成30年度事業計画

1. 委員会

1) 総務委員会

協会の組織・運営、人材についての制度の設計・整備及び広報に関する企画・立案並びに協会賞及び海外派遣事業の企画・審議を行う。

2) オープンアクセス委員会

多様化する学術情報のうち主として大学が生産する教育研究成果の発信及びオープン化と保存に取り組み、大学における教育研究の進展及び社会における知の共有や創出の実現をはかる。

3) 学術資料整備委員会

大学図書館が蔵書や電子リソース等を適切に整備し、利用環境をととのえ、長期的な利用を保証する体制を構築するための調査・企画・立案を行う。

4) 学術情報システム委員会

総合目録データベースをはじめとする学術情報システム基盤を高度化することにより、知の総体を対象として、必要な情報が効率的・網羅的に発見できる環境を実現する。

5) 図書館環境高度化委員会

知を創出する場としての大学図書館のサービスの高度化及び地域・社会との協働に関する企画・立案を行う。

2. シンポジウムの開催

「大学図書館デジタルアーカイブの活用に向けて」をテーマとしたシンポジウムを、10月に神戸大学を会場に開催する。

3. 地区活動の助成

地区協会の事業計画に対し事業費助成を行うことにより、地区活動の活性化を図る。

4. 海外派遣事業

平成29年11月27日付けで長期・短期海外派遣事業を募集した。選考の上派遣する。また、助成金による財源に余裕が生じたため、平成30年5月から8月に掛けて派遣者を追加募集する。

なお、平成29年度秋季理事会において海外派遣事業実施要項を改正し、協会負担上限額を長期派遣は50万円から60万円に、短期派遣は25万円から30万円に増額した。

5. 国立大学図書館協会ビジョン推進

各委員会がビジョンを推進するため、調査研究費ではまかなうことのできない事業、及び戦略的海外派遣を行なう場合の予算を措置し、理事会で計画を選定し、実施する。

6. その他